

2022 年度末報告書（実行団体）

- 提出日 : 2023 年 4 月 14 日
- 事業名 : 富士見・八ヶ岳山麓地域の未来のまちづくり・ラボ実現プロジェクト
- 資金分配団体 : 認定特定非営利活動法人富士山クラブ（甲信地域休眠預金等活用コンソーシアム）
- 実行団体 : 特定非営利活動法人こどもの未来をかنگえる会

1 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
八ヶ岳山麓地域において、地域内経済循環を考え、未来のまちづくりを考える場づくりを地域の関係者の参画により地域の拠点において継続的に開催することで、地域の関係者のネットワーク化を図り、地域内経済循環の活性化のための行動を促していく。その一環として、富士見高校と連携をし、高校生の農村集落での学びの場づくりを行い、高	ワークショップの開催数 町内で様々な協同プロジェクトが立ち上がる	ワークショップの開催数：9回（年3回程度） 協同プロジェクト数：5つ	2024 年 3 月	①開催回数：10回 （ワークショップを太字） ○地域経済循環WS 12月9日 高橋靖典氏を招いた地域通貨シミュレーションゲームワークショップ ○エネルギーの循環：温暖化対策WS（協同プロジェクト1） 5月 マップ化作業のベースづくり（信大研究室）、ワークショップ計画策定 6月 農村計画学で考えSDGsな土地活用の考え内川先生、住民との作業方法策定 7月 実態調査、住民とのマップ化作業	1

<p>校生の参画による農村活性化の方策を検討する。リビングラボの拠点として、地域の飲食店や宿泊施設の活用に加え、遊休農地を活用した体験農園の創造など、富士見町らしさを活かしたリビングラボを創造する。(交流の場)</p> <p>1年目：富士見リビングラボの3年後の出口を見つける</p> <p>2年目：出口に向けて少し方向性を絞りつつ、具体的に検討、検証する</p> <p>3年目：出口づくりのためのフレームワークづくり</p>			<p>9月24日 信州大学内川准教授によるセミナー 開催「農村の土地利用プランづくりと協働のまちづくり」</p> <p>10月9日 FOE Japan 吉田さん勉強会「未来をつくるでんきのえらび方」セミナー</p> <p>11月7日、12月16日、1月10日、2月15日 定例会</p> <p>2月26日 みんなが幸せになるゼロカーボンとSDGsの持続可能なまちづくりワークショップ 第1回「富士見町におけるゼロカーボン社会とは」</p> <p>3月21日 第2回 地域経済を活性化するゼロカーボンタウン</p> <p>②富士見高校総合学習 農村の魅力・課題発掘PJ(協同プロジェクト2)</p> <p>4月14日、21日 高校での座学講座</p> <p>6月9日 西山地区訪問</p> <p>9月1日 机・竹林整備 竹あかり</p> <p>9月18日 竹あかりプロジェクト参加</p> <p>10月13日 農村地域の学びの場(座学)</p> <p>1月23日 富士見高校との打ち合わせ</p> <p>2月16日 高校生の成果発表会</p> <p>2月24日 来年度に向けた高校との打ち合わせ</p> <p>③協働農園プロジェクト (協同プロジェクト3)</p> <p>・2022年度事業</p>	
---	--	--	--	--

			<p>若宮農園（7組）乙事農園（10組）で事業開始</p> <p>5月14日 顔合わせ</p> <p>6月4日 若宮農園 えごま種まき</p> <p>6月18日 乙事農園 作業</p> <p>6月25日 若宮農園 定植</p> <p>7月2日 ワークショップ（畑ヨガ・水利を学ぶワークショップ）</p> <p>8月6日 若宮農園除草・ワークショップ（有機農業の学び・採蜜ワークショップ）</p> <p>9月10日 収穫祭・交流会</p> <p>11月26日 打合せ ・2023年度）</p> <p>12月28日 新規農園を参加による打ち合わせ</p> <p>1月28日 来年度事業の打ち合わせ （2023年度事業の準備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細川農園（若宮農園） 大豆栽培 ・早川農園（乙事農園） 市民農園型 ・はる農園（境農園） 市民農園型 ・かぼちゃん農園（大平農園）ルバーブ栽培（お手伝い型） <p>2月19日 マスコミ発表</p> <p>3月5日 説明会</p> <p>④人と森を近づけるプロジェクト（協同プロジェクト4）</p>	
--	--	--	---	--

				<ul style="list-style-type: none"> ・バンブーマイスター講座 (DEF&つくえラボ) 5月30日, 6月11日 ・竹あかりづくりワークショップ 9月18日 ・里山管理・薬草ワークショップ秋 (10月10日) トライアスロン大会との連携&細川木材&石川氏 ・富士見・八ヶ岳山麓の50年の森ビジョンプラットフォームの立ち上げ勉強会 3月28日 	
子ども・若者の居場所と創造的な学びの場づくりを継続的に開催する。また地域内の音楽、手芸等の多様な専門家等との交流を図り、子どもたちの自己肯定感を高める多様な学びを提供する場として発展させる。またこどもレストランなどの地域の社会を活性化する自立的な活動を展開する。	居場所の参加人数 子どもたちの多様な学びと育ちの場の実現	居場所の開催数： 395回 (月約15回以上×5か月+ (10か月×15回+月5回×2ヵ月) ×2=3 年	2024年 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・月、水、木、金の週4回開催。夏休み及び春休みは昨年度の経験をふまえ通常の居場所ではなく、全町のこども向けイベントを開催。自然学校ヤッホーと連携した外遊び企画、高森文庫による居場所活動など他団体との連携を強化。 ・アトリエDEFとの連携による竹のプランターづくり、つくえラボとの連携によるアート活動なども行った。2022年度は合計75回(イベントを含む)参加者が880人。2023年度は合計161回、参加者は延べ1338人。 10月からは「ひこうせん食堂」を開催。 1月29日小学生6年生の女の子の提案により「おかしレストラン」を開催。 活動を通じた寄付金額は93680円となった。 	2
富士見町等八ヶ岳山麓地域において、人・もの・ことを発	アプリを通じて情報発信・	アプリに参加する事業者、団体数：	2024年 3月	2021年度はやつがたけの人・〇やつリンク もの・ことを発信する「やつリンク」のアプリ	1

<p>信するアプリを開発し、多くの商店や商品・サービスを提供している者、学びの場やワークショップなどを行っている団体や者の参画を得て、情報を発信するとともに、アプリを通じた地域内の関係者の出会いと協働を促すマッチングの場づくりを行う。また既存の EC サイトの活用、連携により地域内の流通の仕組みづくりと地域内産品、サービスの地域外利用を通じた地域内経済循環のベースを構築する。（活躍の場）</p>	<p>交流をする事業者、団体等の数</p>	<p>100</p>		<p>り開発を行った。2022 年度からアプリに参加する事業者を募り、7月より一般公開。2023 年 3 月 15 日 現 在 登 録 店 舗 数 145 団 体 公 式 ラ イ ン に よ り 新 着 情 報 を 発 信 。 公 式 ラ イ ン の お 友 達 数 732 人（2023 年 3 月 15 日 現 在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会の縄文イベント、しらかば宅配との連携した情報発信 ・リアルなマッチングの場づくりとして食のマッチングイベントの開催（3月16日）・諏訪信用金庫との意見交換（地域通貨との連携の可能性） ・やつリンクを通じたSDGSの取組成果については別紙で紹介。 <p>既存の EC サイト（つくつく）に「八ヶ岳ステーション」の店舗6月に立ち上げる。参加店舗数 4 店舗（2023 年）</p>	
---	-----------------------	------------	--	---	--

* 進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

<p>1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み</p>
<p style="text-align: center;">状況をプルダウンより選択してください▼計画より進んでいる</p>

2.アウトカムの状況

A：変更項目

変更なし 短期アウトカムの内容 短期アウトカムの表現 短期アウトカムの指標 アウトカムの目標値

3. 活動に関する報告

活動の進展に伴い、事業計画を付加する形で見直し、着実に活動は発展している。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

ワークショップ等の学びの場づくりにあたってズームを活用しオンラインで行った。

また、大人数を集めてのプラットフォームづくりが困難であるため、事業計画を変更し、人・もの・ことをつなぐアプリ開発やECサイトの利用で行うこととし、非接触型で関係者をつなげ、地域経済循環を促す仕組みづくりを行うこととした。子供の居場所は、飲食をやめ感染対策を強化しながら開催を継続した。

③広報に関する報告

シンボルマークの使用状況
<input type="checkbox"/> ■ 自団体のウェブサイトに表示している <input type="checkbox"/> ■ 広報制作物に表示している <input type="checkbox"/> 報告書に表示している <input type="checkbox"/> イベント実施時に表示している <input type="checkbox"/> その他 → 「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等） 学びの場や活動については新聞やTVで積極的に取り上げられている。
2.広報制作物等 学びの場のチラシ、アプリのチラシ等を作成した。
3.報告書等 パワーポイント資料で活動実績をわかりやすく整理した。
4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） 学びの場で取り組みを発信している。

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
<input type="checkbox"/> ■ 完了 <input type="checkbox"/> □ 整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input type="checkbox"/> ■ 全て公開した <input type="checkbox"/> □ 一部未公開 <input type="checkbox"/> □ 未公開 → 「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：

3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：

2. 内部通報制度は整備されていますか。

はい いいえ

→ 「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： 内部に窓口を設置 外部に窓口を設置 JANPIA の窓口を利用

3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：

4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：

5. コンプライアンス委員会は定期的開催されていますか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：特段の課題は生じていないため

6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）

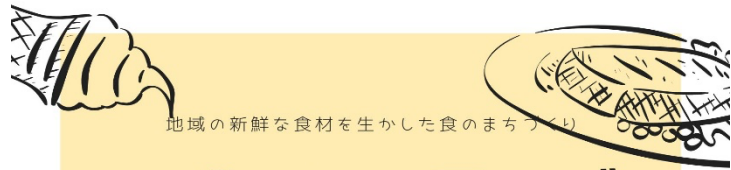
内部監査を実施 外部監査を実施 実施する予定がない
→「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）

薬草ワークショップ





地域の新鮮な食材を生かした食のまちづくり

食のマッチング ミーティング

地域の食材を生かしたまちづくりにおいて
地域の農家、飲食店、パン屋・お菓子屋さん、
食の加工事業者、食料店等、食に関心のある住民
のみなさまとの出会い・交流イベントを開催します。

日時：2023年3月16日(木) 15:00-17:00

場所 富士見町商工会会議室

内容：複数事業者協働による
商品開発の事例紹介・試食
参加者同士の交流&
地域の食材を生かす食づくりワークショップ

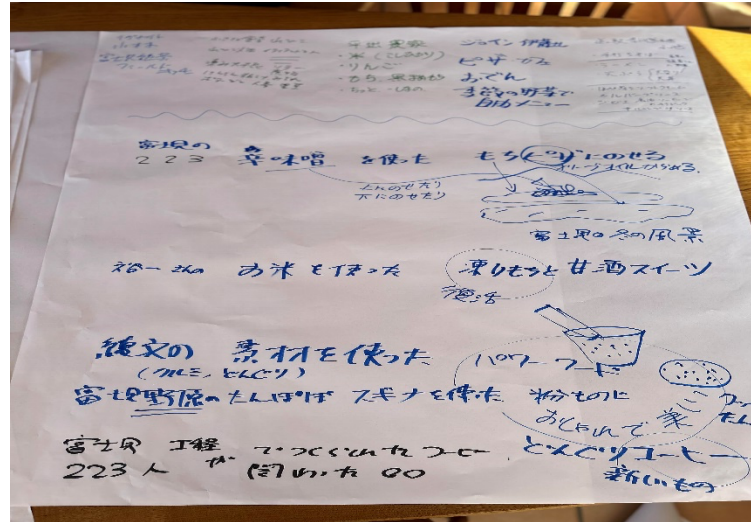
主催：富士見まちづくりラボ、富士見町商工会商業部会

後援：富士見町

参加申し込み・問い合わせは fujimimachi.mirai.lab@gmail.com



この事業は「地域活性化推進基金」
補助金で実施されています。この補助金
は、地域活性化推進基金の補助金を
限りなく活用しています。



食のマッチングミーティングの様子

イン



富士見高校総合学習 竹林整備

地域通貨趣味レーションゲームワークショップの様子

FUJIMI TOWN Sustainable Project

ゲームで「地域内循環」を体験しよう！ 地域通貨 シミュレーションゲーム

特定の地域で独自に発行して、サービスやモノの価値を自由に決めて交換していく「地域通貨」をご存知ですか？

「ありがとう」の気持ちをお金ではなく、地域通貨で表現する取り組みは、これまで日本各地で行われてきました。

一方で、現在の「お金」は、どのように地域内を巡っているのでしょうか。

今回は、富士見町内の地域内循環について考える機会として、神奈川県・藤野エリアの地域通貨「萬（よろづ）」の事務局を務める高橋靖典さんをお招きして、カードゲームを用いた体験会を行います。

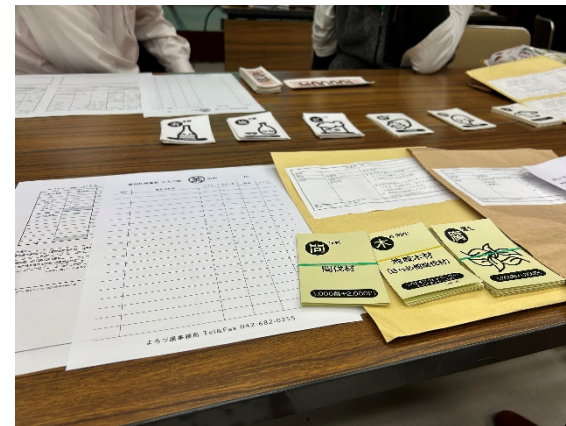
日時：2022年12月9日（金）18:30-21:00
場所：富士見町商工会 2階会議室
参加費：1,000円
定員：20名
予約：fujimimachi.mirai.lab@gmail.com
お名前・ご連絡先を明記してください。

GUEST 高橋 靖典

新規事業プロデューサー、ワークショップデザイナー。シュタイナー教育、農業、現代アート、トランジション藤野、藤野エリアマネジメント等、様々な事業を展開している。神奈川県・藤野エリアの地域通貨「萬（よろづ）」の事務局も務める。

主催：富士見まちづくりラボ

※甲信地域休眠預金等活用コンソーシアム2020年度草の根活動支援事業
「甲信地域支援と地域資源連携事業〜こども若者らが自ら課題を解決する力を持てる地域づくり事業〜」



FUJIMI TOWN Sustainable Project



富士見町50年の 森林ビジョンづくり に向けた 意見交換会 第1回

富士見町・八ヶ岳山麓の宝である森林の多くが管理が行き届かず、人と森の距離も遠くなっています。自然環境豊かな森づくりをしながら、材やエネルギーとして地域内外で活用することで、地域の森林・建築・も木工・森林サービス産業等のビジネスの発展を促し、私たちの暮らしをより豊かにできる可能性があります。

主催：富士見まちづくりラボ
後援：富士見町役場産業課

開催日時
2023年3月28日（火）15:30 - 17:30
会場：富士見町 若宮風月庵（参加無料）
参加申込：fujimimachi.mirai.lab@gmail.com



※駐車場は
若宮公民館をご利用ください

開催スケジュール

- ・森林整備、材としての利用の現状と課題
富士見町役場産業課 農林保係長 和田勝利氏
- ・「土佐本山コンパクトフォレスト」
森林ビジョン
フォレストーズ合同会社 代表社員
- ・持続可能な森づくりと地域内経済
富士見まちづくりラボ
- ・自己紹介（事業者の場合は取組紹介
今後の進め方についての意見交換

甲信地域休職預金等活用コンソーシアム2020年度革の根活動支援事業
「甲信地域支援と地域資源連携事業～こども若者が自ら課題を解決する力を持てる～」

森林ビジョンプラットフォーム づくりにむけた勉強会



ゼロカーボン&SDGS ワークショ
ップ・現地視察の様子

